

○議長（堀内春美さん）

休憩を解いて再開します。

続いて、通告4番 4番 深澤一幸君の一般質問を行います。

4番 深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。今回はですね、峡南5町の事業でもあります。電動アシスト付自転車を活用した観光事業について質問させていただきます。なお本日はですね、2枚のパネルを用意いたしました。1枚目はですね、本町以外のシェアステーションの状況です。1枚目のこのパネルはですね、下がですね南部の湯のステーション、上がですね身延駅前商人通り駐車場ステーションです。ほかに調査したところ、甲斐岩間駅は駐輪場、道の駅とみざわはテントでした。また、路上ステーションや軒下のところもありました。ステーションの形態は、それぞれの町によって様々でした。それでは、シェアサイクル事業についての質問に入ります。オープニングセレモニーが身延町で行われ、テレビでも報道されましたので、皆さん方もご存知だと思います。私も気になりましてですね、4月の初めに、各町のステーションを見に行ってきました。さすがに、長時間にわたって利用状況の調査は、できませんでした。そこで（1）令和5年3月22日にシェアサイクル事業を開始しましたが、本町の利用状況についての考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。シェアサイクル事業の利用状況につきましては、利用回数や平均利用時間等を集計し、翌月中旬に報告書が提出されることとなっております。このことから、現在、報告を受けております最新のデータは、4月末までの実績となり、町内に2つあるステーションのうち、道の駅富士川ステーションでは、貸出が6件、返却が7件、また、鵜沢商店街ステーションでは、貸出が2件、返却が2件の実績報告がありました。こうしたことから、サービス開始からの期間が短く利用状況の統計が取れていないことから、今後、実績や課題が示された中で、峡南5町で協議を行い、利用促進に務めて参ります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。委託先からの報告書が未締めの上月中旬でないと出てこないということですが、町独自では利用状況の把握はできないのでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。利用状況につきましては、未締めでシステム会社が集計するため、町独自では把握することはできません。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

データが全て委託先に行くようになっているので、リアルタイムでは見られないということですが、何事においてもスピード感が求められる現代です。データが共有できるように1つ交渉してみてください。それでは再質問です。町内2か所のステーションの実績はわかりました。報告されたデータの中に、利用回数や平均利用時間等が示されているようですが、他にどんな内容が含まれていますか。また、利用者からの声として、不具合を含むクレームや要望、意見等はなかったのでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。経路別利用回数や、時間帯別利用回数などの報告とあわせて、問い合わせ件数の報告がありました。問い合わせの内容としましては、利用方法などと自転車不具合についてでございました。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

問い合わせ内容が、利用方法や自転車の不具合、おそらく空気がとかっていうような問題ではなかったのでしょうか、ちょっと調査したときにも、よその町でも何も問題はなかったんですけど、ただ空気圧がちょっと低いんじゃないのかなっていう、これは感覚的な問題だと思うんですけども、そんな問題がちょっと1つあったということなので、おそらく当町でも、そんな感じのものではなかったのでしょうか。概ね問題もなく、稼働をしているということですね。さて、再質問になりますけども、手軽に乗れる自転車がゆえに、安全に使用されなければなりません。安全に利用していただくための、維持管理についてはどうなっているのでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。シェアサイクル自転車は電動アシスト付きで、スポーツタイプは8アンペアで、標準モードで約36キロ。かご付きタイプは12アンペアで、標準モードで約54キロの走行が可能です。このバッテリーの容量が不足しないよう、1週間に1回の交換と、ステーションの清掃、ステーションの自転車の台数を保つため、移動した自転車を、ステーションに戻す運搬作業を行っております。また、3か月に1回のメンテナンスを行うこととなっております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。自転車の維持管理についての答弁をいただきましたが、利用者自身の身を守るヘルメットについても、お伺いいたします。警察庁のまとめによりますと、昨年までの5年間に、頭部に致命傷を負って死亡した1116人のうち、96%の約1071人はヘルメットを被っていなかったとの調査が出ております。ヘルメット着用がいかに重要かわかります。本年4月1日より、ヘルメットの着用化、基本的には努力義務となりましたが、本町のステーションには、自転車と使用済みのヘルメット返却ボックスしか設置しておりません。また、シェアサイクルステーションマップにも、ヘルメットの記載がありません。着用については、どのように考えていますか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。ヘルメットにつきましては、道の駅富士川ステーションは、道の駅富士川に、鰻沢商店街ステーションにつきましては、小原屋原田商店様の方に、貸し出しのご協力をいただいております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

現在は、貸し出しをしているということですね。はい、承知いたしました。それではですね、再質問ではないんですけども、さて、PDCAサイクルという言葉があります。計画、実行、評価、改善と計画的に改善する工法です。このシェアサイクル事業は、開始して2か月余りです。検証するには、短期間すぎるので、まだ早いのではという議員もいらっしゃいましたが、昨年10月31日の臨時会において、修正動議が出された事業です。峡南5町の観光事業を推進するためのシェアサイクル事業を、春の観光シーズンに間に合わせたいという、当局の考えに賛同しました私達議員も、この事業に対しては、関心も責任もあります。2番目の質問事項にも関係しますが、短期間であろうが、早め早めの検証を定期的に行っていくことが大事だと思います。ここでパネルを変えます。2枚目のパネルは、道の駅ステーションと鰻沢商店街ステーションです。上が鰻沢商店街ステーション、下が道の駅ステーションです。乱暴な表現ですが、スタート時は道の駅のように、鰻沢商店街ステーションも野ざらし状態でした。現在は、道の駅もテントの下にありますので、見た目にもだいぶ改善されたと思います。シェアサイクル事業においては、全国的に見ても、屋根なしが多く、屋根付きは珍しいそうです。都市部では、いろいろな状況によって屋根なしが多いようですが、しかし、利用する人にしてみたら、やはり屋根ありの方が良いですね。私はそういうふうに思います。それでは、(2)の質問に移ります。シェアサイクルは峡南5町の事業ですが、それぞれの地理的、文化的なものなど、地域性があると思います。この地域性を生かした事業が、本町でもできるのか伺います。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。峡南5町の周遊が目的であるシェアサイクル事業につきましては、町内の観光スポットの移動にも利用していただきたいと考えております。すでに、道の駅富士川を拠点とした畚米の棚田や甲府盆地の絶景ポイントなどが含まれた、おすすめスポットを巡るサイクリングマップなどを作成しており、これらのマップを活用していただくことで、シェアサイクルを使用した町内観光にも、つなげて参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。町内の観光スポットへの移動にも、利用していただきたいとのことですが、町民の事業に対する、この事業に対する認知度は、どのくらいだとお考えでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。サービスを開始したばかりであり、認知度は低いと考えております。広報誌やホームページ、ツイッターへの掲載、また町内主要施設にチラシの配布を行う中で、さらに認知度を高めるため、今後は目に付きやすいよう、のぼり旗や看板を設置するなど、さらに周知に努めて参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。認知度からいくと、鰻沢商店街ステーションについては、場所がわかりにくいという声があります。道路に面してはいるが、自転車が見えにくいということだと思います。今後は、のぼり旗や看板を設置すると答弁をいただきましたが、管理上の観点からも、空き店舗等を活用してステーションにするということは、検討の余地があるのでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。現在、峡南5町では、町有地など、費用負担のない場所をステーションとして使用しております。空き店舗を活用した場合、賃借料が発生することが考えられます。シェアサイクルについては、峡南5町の負担金で運営されているため、富士川町の賃借料を峡南5町で負担することは困難なため、空き店舗の活用は不可能と思われます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

先ほど、地域ごとに特色があるというお話をさせていただきましたが、状況はわかりました。そこでもう1つ提案させていただきます。1枚目のパネルのようにですね、二次交通の

交通手段としては、やはり駅前に駐輪場ステーションがあること、設置することが理想だと思います。いかがでしょうか。空き店舗を活用することも含めて、再考を促します。今回は、本町だけについて答弁をいただきましたが、あくまでも峡南5町の事業です。当町以外の担当者にも意見をお聞きしましたところ、やはり地域性があることは感じているようでした。目に見えるところでは、駐輪場の屋根の問題、ステーションの場所など、再検討する考えがあると言っていました。スタートして間もない事業ですが、いくつかの課題が見えてきたと思います。今後とも常に検証をし、さらに新しいアイデアを出して進めていってほしいのです。この事業が尻すぼみにならないよう、我々も注視して注意していきますし、前向きな提案もどんどんさせていただきます。最後は、希望的な意見を述べさせていただきますが、以上をもちまして、私の一般質問は終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で、通告4番 4番 深澤一幸君の一般質問を終わります。

---